

これまでに側方進入椎体間固定術を受けた患者さんへ
【側方進入椎体間固定術の合併症のデータベース構築に関する研究へのお願い】

刀根山病院整形外科では「側方進入椎体間固定術の合併症のデータベース構築に関する研究」という多施設観察研究を行う予定です。この研究は、側方進入椎体間固定術の手術合併症を継続的に全国規模で調べ、その現状を把握して、対応策を講じることにより、国民により安全な医療を提供することを主な目的としています。そのため、過去に側方進入椎体間固定術を受けた患者さんのカルテ等の診療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○今回の調査研究は、平成27年4月1日から平成33年12月31日までに側方進入椎体間固定術を受けた患者さんの診療記録が対象です。

○過去の記録を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、患者さんの負担並びに危険性は全くありません。また、患者さんへの直接的な利益もありませんが、研究の成果は、将来の脊椎脊髄外科の治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータには個人を容易に特定できるデータは含まれておらず、データは日本脊椎脊髄病学会が厳重に管理します。また、研究で使用したデータは、当該研究の結果の最終の公表について報告された日から5年を経過した日まで保管します。保管期間終了後は、適切な方法で廃棄します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、個人を特定するような情報が公表されることはありません。

○日本脊椎脊髄病学会（代表者：田口敏彦、学会HP：<http://www.jsr.gr.jp/>）が代表施設としてこの調査研究を行い、この研究に賛同した同学会会員が所属する医療施設から得られた情報を使用致します。特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

○この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。

○この調査研究は日本脊椎脊髄病学会倫理審査委員会および刀根山病院の臨床研究審査委員会で承認され、刀根山病院長の許可を得て実施しています。研究期間：平成30年1月～平成34年12月末までもし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。本研究への協力を拒否された場合も今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

刀根山病院整形外科：研究責任者 井澤一隆 電話：06-6853-2001

研究事務局：日本脊椎脊髄病学会 電話：03-6267-4550

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願い致します。